

▶ エンティティ長メッセージ

MIZUHO

みずほ銀行

挑戦・自走する組織へ



安定的な業務運営の継続を大前提に、営業面では反転攻勢を力強く進めていく。このような決意で、2023年度の業務執行を行っていきます。

そのためにはまず、国内で圧倒的な顧客基盤を有するみずほ銀行の特長を再び強みに磨き上げるべく、お客さまとの接点の質の向上に取り組んでいきます。部門ごとのビジネス特性を踏まえて各施策を遂行していきますが、通底する大切な考え方は「お客さま本位であること」です。

そのうえで、グループの中核銀行としてグループ連携の起点となり、変化・多様化するお客さまニーズに対し、〈みずほ〉の強み ～グループワイドな業務領域・グローバルなネットワーク～をつなぎ合わせ、お応えしていきます。

また、このような営業を展開するうえで、安定的な業務運営は欠かせません。システムの安定稼働はもちろん、各現場での無駄の排除や業務効率化にも不断に取り組んでまいります。

「変化の穂先であれ。」新たに設定したバリューを総評する言葉です。役員・社員一人ひとりが、お客さまに寄り添いながら、時代の変化の先端に立ち、そして、お客さまや〈みずほ〉の変化を促す主体となっていく。これを実現するために、私は役員・社員の皆さんにどんどん仕事を任せます。一人ひとりが自ら考え、変化に挑む〈みずほ〉をともに創っていきます。

みずほ銀行 取締役頭取

加藤 勝彦

MIZUHO

みずほ信託銀行

“想いをつなぎ、豊かな未来をつむぐ” 信託銀行に



みずほ信託銀行は、エッジの効いた信託機能とグループ各社の機能とをつなぎ合わせることで、多様な価値をお客さまに提供し、持続的な成長の牽引とその先の豊かな未来をつむぎだしていくことをめざしてまいります。具体的には以下の3点に取り組めます。

「専門性のエッジを磨く」：お客さまのニーズにお応えするだけでなく、より高い専門性と先見性を駆使し、お客さまや社会にとっての将来的な課題を見つけ、課題解決の提案を行う、高い次元の「ストーリー提案」を行います。

「連携の深化」：グループの顧客基盤やリソースをフル活用することを通じて、グループの機能を同時に提供する「横」の連携と、連続的にビジネスを展開する「縦」の連携を強化し、より多くのお客さまに多様な付加価値の連鎖を提供します。

「経営基盤の強化」：企業風土変革・専門性向上に向けた取り組みを継続させ、心理的安全性が高く、絶えず高い基準への成長を求めていく「学習する職場」をめざします。

2022年、信託法は制定100年となりました。私たちは次の100年に向け、従来の発想にとらわれないアイデアで、〈みずほ〉にしかない価値を提供し、すべてのステークホルダーにとっての“高い専門性と豊かな発想とともに歩む頼れるパートナー”となれるよう取り組んでまいります。

みずほ信託銀行 取締役社長

梅田 圭

MIZUHO

みずほ証券

お客さま第一を貫き、 お客さまとともに成長していく証券会社に

みずほ証券は常に自らを変革し、お客さまとともに価値の共創に挑戦してまいります。お客さまの声に耳を傾け、多様化するお客さまと社会の課題解決に貢献してまいります。

お客さまに寄り添いながら、ともに資産所得倍増へ挑戦し、豊かな家計の形成、次世代への継承を通じた希望のある未来の構築に取り組んでまいります。

サステナビリティ、DX、グローバルサプライチェーン等、様々な課題に直面されているお客さまともエンゲージメントを深めてまいります。

一緒に考え、悩みながら、グループ・国内外の豊富な顧客基盤や投資家ネットワークを活かして、価値共創に資するソリューションをご提供します。

地政学リスク、インフレ、米銀破綻等により、足元でグローバル市場の視界は不透明感を増しています。変化の予兆やリスクに目配せしながら、お客さま起点で行動するプロフェッショナル集団として、お客さまとともに時代の変化を乗り越え成長していきます。

2023年度は「お客さま本位」の徹底、〈みずほ〉エッジを活かした「差別化と競争優位の確立」、[グループ全体を牽引する成長機会の探求]、この3点を軸にビジネスを前進させていきます。現場・社員目線の尊重、堅確な業務運営、業務運営の効率化にもしっかりと取り組んでまいります。

お客さまをはじめとする、すべてのステークホルダーの皆さまと、ともに挑み、ともに実ることで、最も信頼され、最も必要とされる証券会社になっていきます。

みずほ証券 取締役社長 浜本吉郎



MIZUHO

みずほリサーチ&テクノロジーズ

知と技を結集し、お客さま、 そして社会とともに未来を創る

みずほリサーチ&テクノロジーズは、リサーチ、コンサルティング、ITデジタルの機能を結集した専門家集団として、設立3年目となる2023年度からの中期経営計画期間を通じて以下の三点に挑戦します。

一点目は「強みの磨き上げ・融合」です。戦略・SX・デジタルを注力領域とし、サステナビリティとそれに向けたトランジションの領域において培った知見に基づく金融を超える新たな価値創造への貢献や、AI分野をはじめとするテクノロジーの急速な進展を踏まえた社会全体のデジタル化、社会課題解決への取り組み等をさらに強化します。注力領域を見据えた人員のリバランスやパートナーの皆さまとの協業による事業強化を通じて、私たちがもつ多様な事業ポートフォリオと社内外の強みの掛け合わせによる価値共創推進体制の確立を進めます。

二点目は「業務の改革」です。〈みずほ〉のITシステムの安定稼働を支えるエンティティとして、中長期の環境変化も見据えたIT業務の変革とシステム構造の最適化に挑戦します。加えて、生産性向上に徹底的にこだわり、各事業領域における不断の業務改善、業務プロセスおよびITインフラの改革を進めます。

三点目は、これらを支える「経営基盤の再構築・強化」です。〈みずほ〉の企業理念の再定義を踏まえたカルチャー変革や〈かなで〉に向けた人事戦略への移行、2025年の大規模拠点再編をターニングポイントとするワークスタイル変革へ向け、経営の土台づくりをしっかりと進めてまいります。

みずほリサーチ&テクノロジーズ 取締役社長 吉原昌利

